

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、現状分析のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	A	A	A	A	/
2. 研究科の理念・目的を掲載するウェブサイトの状況について、現状分析と改善のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	D	C	C	B	/
3. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、見直しの必要性に関する意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	B	B	B	A	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
4. 毎年2回開催している入試説明会で理念・目的を参加者に説明している	→入試説明会の開催回数と参加人数	/	/	A	A	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	研究科委員会(教授会)において、研究科のあり方(理念・目的)や、入試・学位審査等について意見交換している。
目標2	理念・目的についてはウェブサイトで公表している。より効果的なウェブサイトの活用を検討する。
目標3	理念・目的についての検討を行い、DP(学位授与方針)・CP(教育課程の編成・実施方針)・AP(学生の受け入れ方針)を設定した。
目標4	年2回の説明会では、説明用の資料を作成して、理念・目的について説明した。春2名、秋10名の出席者があった。
備考	